

# 誰もが 過ごしやすい学校にしよう！

小学校・4～6年

## I プログラムについて

### 1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「コミュニケーション能力」）

＝【人権感覚育成のための視点】

外国人の気持ちに寄り添ったり、外国人の立場に立って物事を進めたりするなど、外国人と分かり合うための活動を通して、相手の気持ちや立場を考えてコミュニケーションを図ろうとする能力を養う。

◇関連する個別の人権課題「外国人」

### 2 関連する教科等について

#### ○学級活動

内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
（イ よりよい人間関係の形成）

### 3 人権教育上の視点

（1）互いに分かり合うために、相手の気持ちや立場を考えてコミュニケーションを深める態度を身に付けている。（価値・態度）

## II アクティビティーについて

### 1 概要

#### ○活動1

導入「読んでみよう！」を実施し、外国語で書かれた文字が読めないことの不自由さを体験する。

#### ○活動2

外国人の立場に立って、グループごとに校内の各部屋についてパソコンを使って外国語で説明する掲示物を製作する。掲示物は実際に掲示する。

#### ○活動3

外国人の児童にも配慮がされた学校になったかどうか話し合う。

## 2 準備するもの

- タイ語、韓国・朝鮮語で書かれたプリント（タイ語と韓国・朝鮮語の例）
- ワークシート
- 掲示物の例
- A4判のコピー用紙と画鋏、セロテープ（印刷・掲示用）

## 3 アクティビティの進め方

- 活動1 「読んでみよう！」
  - ① タイ語や韓国・朝鮮語で記されたプリントを見て、どんなことが書かれているか考える。
  - ② 外国から転校してきた児童が、学校生活で困るかについて話し合う。
- 活動2 「外国語の掲示物をつくろう！」
  - ① グループごとに、掲示物を製作する部屋とその説明等を考えて、ワークシートに記入する。
  - ② ワークシートをもとに、グループごとに発表し、意見交換をする。
  - ③ グループで協力して掲示物を製作し、該当箇所へ掲示する。
- 活動3 「振り返り」
  - ① 学習を通して、気付いたことや考えたことを振り返る。

## 4 アクティビティを指導する際のポイント

- 導入「読んでみよう！」では、実際に外国語の文章を読んで、言葉が全く理解できないことにより、その人の能力を発揮する妨げ等になることを体験させ、コミュニケーションの大切さに気付けるようにする。
- 「外国語の掲示物をつくろう！」では、外国人の気持ちを理解させるために、導入で児童が不安になった気持ちを想起させる。
- 外国人とのコミュニケーションを図ることの他、外国人の人権を尊重することについても触れる。
- 例えば、外国籍児童の転入、国際姉妹都市交流による児童生徒の受け入れ、日本人学校児童の体験入学の前などに実践すると効果的である。

## Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問（T） 児童の反応例（C）	教師の働きかけ（・） 人権教育上の配慮（◎）
5分	1 導入「読んでみよう！」 T プリントを読んでどんなことが書かれているか教えてください。	・ パソコン室で授業を開始する。 ・ タイ語や韓国・朝鮮語で書かれたプリントを配布する。

	<p>C 日本語ではないので何と書いてあるのか分からない。</p> <p>C 外国の言葉なので読めない。</p> <p>T これらは日本語で〇〇と書いてあります。文字が読めないと学校生活も困りますね。外国から転校してきた子も同じように困るでしょうか。</p> <p>C 文字が読めないと教室の場所が分からないので不便だと思う。</p> <p>C この部屋はどのように使うかが分かると安心できる。</p> <p>T 今日は、外国から来た友達も安心して学校生活が送れるような掲示物を作りましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と話し合う時間を確保して、自分だけでなく、他の人も分からずに困っていることを理解させる。</li> <li>・「掲示物の例」の日本語訳を読み上げる。</li> <li>・掲示物は部屋の名前を示すだけでなく、使い方が分かるとさらによいことにも触れる。</li> </ul>
<p>35分</p>	<p style="text-align: center; background-color: #e0f0e0;">外国語の掲示物をつくろう！</p> <p>2 学習内容（手順）の確認</p> <p>T はじめに部屋の名前をローマ字で書きます。次に、その説明を考えます。最後に、パソコンの翻訳機能を使って外国語にします。</p> <p>3 グループによる製作活動</p> <p>T 外国人が困らないためには、どのような情報が必要なのか考えましょう。</p> <p>C この部屋は何の教科で使うのかを知らせるとよいと思う。</p> <p>C 部屋に入るときの注意点や使用するマナーを知らせるとよいと思う。</p> <p>4 各グループの発表</p> <p>T グループごとに、掲示物を製作する部屋の名前とその説明内容について発表してください。発表を聞いて付け足したい内容があれば、発表してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを配布して説明し、学習の手順が分かるようにする。</li> <li>・掲示物の例を掲示して、イメージをもたせる。</li> <li>・外国人にとって困っていることや必要な情報は何かをグループで相談して考えさせる。</li> <li>◎コミュニケーションを図る姿勢を身に付けるために、相手の立場に立って、不安を解消できる内容を考えるよう指示する。(価値・態度)</li> <li>・付け足した方がよい内容を学級全体に問いかけることで、児童の主体性を生かすようにする。</li> <li>◎外国人の立場に立って、分かりやすく安心できる表現になっている</li> </ul>

	<p>C ○○を知らせると、外国からの転校生が困らないと考えました。</p> <p>C ○班と○班の意見を合わせればさらによい掲示物になると思う。</p> <p>5 グループによる掲示物の製作</p> <p>T それでは、グループごとにパソコンを使って掲示物の製作を始めてください。翻訳機能を使って外国語の文にします。</p> <p>6 該当箇所への掲示</p> <p>T グループごとに扉の所に掲示して戻ってきましょう。</p>	<p>かどうかを確認するように助言する。(価値・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・翻訳機能の使い方と、文の主語は「あなた」にすることを指導する。</li> <li>・パソコン操作が苦手なグループには適宜支援する。</li> <li>・入口に掲示するよう指示する。</li> <li>・掲示前と掲示後の写真を撮影する。</li> </ul>
5分	<p>7 振り返り</p> <p>T 掲示物を製作・掲示して、どんな感想がありますか。</p> <p>C 誰もが勉強するのに困らない学校になってよかった。</p> <p>C 日本語が分からない外国から来た子は助かると思う。</p> <p>T 相手のことを考えて工夫をすることで、使いやすくなるのですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示後の写真を掲示する。児童用のパソコン画面に表示してもよい。</li> <li>・本時の学習を振り返り、コミュニケーションの大切さを確認する。</li> </ul>

**IV 資料**

(1) タイ語と韓国・朝鮮語の例 (内容は、171ページ参照)

ห้องนี้เป็นห้องของอาจารย์ ตอนเข้าห้องขอให้เคาะประตูและแจ้งชื่อก่อนเข้าห้อง และเข้าห้องตามมารยาทที่ถูกต้อง รวมถึงไม่ส่งเสียงดังหรือทำกริยาไม่สุภาพในห้องและทางเดิน

여기는 선생님들이 계시는 방입니다. 방에 들어갈 때는 문을 노크하고 자신의 이름을 말합니다. 그리고 예의 바르게 인사를 하고 방에 들어갑니다. 이 방이나 복도에서 떠들지 마십시오.

(2) ワークシート

# 外国語の掲示物をつくろう！

年 組 番 名前 ( )

1 場所（ローマ字で）

---



---

2 場所の説明（日本語で）

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

3 付け足し（日本語で）

---



---



---



---

## (3) 掲示物の例 (説明用)

## 職員室

(Syokuin-Shitsu)

School staff room

This is a teachers' room.

When you enter this room, you should knock on the door and tell your name.

And you enter politely.

Don't make a noise in this room and corridor.

ここは先生方の部屋です。

入室するときは、ノックをして自分の名前を言います。

そして礼儀正しく入室します。この部屋やその廊下で騒いではいけません。

※169ページのIV資料(1)で示した外国語は、翻訳すると全て(3)「掲示物の例」の日本語になります。